

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 宮前教室

保護者等数(児童数)39名

回収数39件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	4	0	1	・柵やマットなどを使用して分かりやすくスペース分けがされていると思う。	・引き続き十分なスペースが確保できるよう努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	2	0	5	・若い女性職員の濃いメイクが気になる。 ・子供の状況を聞いても、「私は見てないから分からない」とだけ言われたりして受け答えも気になっています。 ・時々早退で教室を覗くとリズム体操やソーラン節などが流れており、療育と関係するの不思議に感じることがある。	・職員のメイクについては一意見として受け取り、過度な対応はしない。 ・送迎時の受け答えについてはマニュアルを共有した。 ・連絡帳での共有の仕方、Q&Aの作成、共有の実施などを検討。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	1	0	2	・よく分からないがたぶんできているのだと思う。	・教室内の状況を知ってもらう機会(見学会や授業参観)等の催しを検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	0	2	・壊れたままの収納棚があった ・帰宅すると足の裏に粘土やゴミが付着し、真っ黒になっている。 ・送迎時には泣いていても、写真を見ると楽しそうに遊んでいる姿が見られるので心地よく過ごしているんだなと感じる。	・環境整備は引き続き4月までに行う。 ・児発児童は靴下を脱いで過ごしていることの共有、14時帰りの児童は特に足裏チェックを行うなどの対応案が出た。実施する予定である。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	2	・保護者のニーズに合わせながら、本人にも必要な課題を作成していると、毎回、感じています。 ・幼稚園も通っているので、共有できる資料が定期的にいただけるとうれしい。	・個別面談の提案と、幼稚園などの関係機関にも共有を行って良いかの確認をとる。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	0	0	0	・とても満足しています。いつもありがとうございます。	・今後もプログラム会議など実施していきたい
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	37	0	0	2	保護者のニーズに合わせながら、本人にも必要な課題を作成していると、毎回、感じています。 幼稚園も通っているので、共有できる資料が定期的にいただけるとうれしい。	・個別面談の提案と、幼稚園などの関係機関にも共有を行って良いかの確認をとる。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	0	0	0	・いつもありがとうございます。面談の段階が多く助かっています。	・保護者面談等は必要とあればすぐ実施できるように体制を整えたい。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1	0	4	・支援計画自体はしっかり作成されているが、異年齢で色んな悩みを抱えた子が在籍しているがゆえに、支援計画に沿った療育がなされているのか分からない。	・集団の中で課題をこなしていくことを保護者様へ共有していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	0	0	4	・宝探しなど家では絶対やってくれないようなことをしていただいて有り難いと思う。ただ直接支援されている様子を見ていないからわからないということに加えて、活動内容のフィードバックを読んでもぎっくりし過ぎていプログラムの内容がよくわからない事がある。	・連絡帳の内容を詳細に書く。送迎時の申し送りも手短ではあるが活動内容をしっかり伝えられるようにする。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	4	17	・現状機会はないともいますが、必要性を感じていません。	・室外活動の機会を作り、増やしていく。グループを分けて公園へ行ったりなどを考えていき、その姿勢を見せていく。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	2	・丁寧な説明はなかったかもしれない。	・面談の際に都度説明を行い、繰り返し伝える。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	2	0	1	・オンラインで確認してくださいのみで支援内容の説明はなかった。	・支援計画のサインをお願いする際に項目だけの共有を行うかなど検討をしていく。経過観察する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	4	2	4	・入所4カ月であまりよく分からない。	・会社から必要とされれば実施の検討をする。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	35	2	2	0	・面談以外で、自宅での様子を伝える機会がない。 ・HUG上のフィードバックで書かれた内容のみで、活動中の本人の課題や取り組み姿勢については分からず共通理解ができているか分からない。	・個別支援計画更新のための面談と別にいつでも面談を実施できることを一斉配信して共有していく。

の 説 明 等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	4	1	2	・定期的に稼働化は分らない	・こまめな連絡をし情報共有や相談会を行っていますきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	0	0	1	・いつも話を聞いていただきありがとうございます。	・HUGやLINEを活用し保護者の声を聞いて行ってきたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	7	5	6	・兄弟向けのイベントは分らない。 ・保護者会が開催されていることは知っている。	・夏ごろにまた保護者会の実施を検討中である。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1	0	3	・意見を言いやすい環境だと思う。 ・LINEの返事もすぐに来るので安心してている。	・HUGやLINEを活用し保護者の声を聞いて行ってきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	2	0	1	・とても丁寧に対応してくれています。	・HUGやLINEを活用し保護者の声を聞いて行ってきたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	36	1	0	2	・まだ通い始めたばかりで分らない	・初回契約時などでの説明が必要と感じた
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	2	・まだ通い始めたばかりで分らない	・初回契約時などでの説明が必要と感じた
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2	2	12	・あまりよく分らない。 ・多分しっかりやっているのだと思う。	・マニュアル等の公開をHUGで行い、保護者へ一斉アナウンスする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	2	0	13	・定期的にかどうかはわからない	・今後は訓練を月1で実施し保護者へ連絡する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	3	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	0	0	1	・とても速やかに対応してくれていると思う。	・緊急連絡先の見直しを定期的に実施する。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	3	0	1	・時々、叩かれた等もあり行きたくないと言ったことがある。	・どのように対応したかなど保護者へ丁寧な申し送りを心がける。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	0	1	・長男は喜んで車に乗るが、次男は送迎車を見た途端号泣することがある	・当日の様子など安心してもらえるような連絡帳を記入する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	3	0	2	・一点だけ気になっている点があります。 児発の教室に、放デイの大きい子がドアを開けて入ってきて悪口や暴言を吐かれると子供から聞いています。障害の特性上仕方ないので気にしないように本人に言い聞かせていますが、建物、ドアロックや鍵式にするなど、開かないようにするだけで解決できる部分かと。ご予算の問題あるかと思いますがぜひご検討ください。 ・時間が2部構成以外の選択がないので仕事しにくいと感じることがある。 ・息子2人同時に預けるとフィードバックの内容があまりにも同じ過ぎる。年齢が違うので出来ることと出来ない事がもっとはっきりするだろうに少し丁寧に記載いただけると有り難いです。フィードバックのページにも事業所での様子の写真を載せてもらえると有り難いです。	・連絡帳の内容の工夫、配慮。送迎時の申し送りなどその日の事はその日に伝える対応を行う。

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

公表日 2025年 2月 20日 事業所名 こぼんはうすさくら 宮前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
--	--	--------	----	-----	---------	-----------

環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	2	状況により机を出し入れして場所の確保に努めたりしている。 ロッカーなどスペース分けされている子供2〜3に対して指導員1人で教室が一杯になる事はない ロッカーの位置をずらしてフリースペースを十分に確保しつつ支度準備がしやすいようになった。 鍵やチェーンをかけている 自由に過ごせるスペースとプログラムをやるスペースが分かれている。必要ないものは置かない。 原則、午前から利用の児童は13か14時まで、午後からの児童と入れ替わるように工夫している。	ホワイトボードのレイアウト、棚の在り方棚が少し古い 教室を走る事を直したい 物置の角が出ているため、大変な目に会わないように防ぐ必要がある ホワイトボードを児童が消したり書いたり出来ないようにしたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	4	スキルに見合った人員配置がされているいつも人数は満たされている 支援員人数が足りない場合は、放デイや事務所に積極的に声をかけて対応している点 新規利用で慣れていない児に対しては、職員配置を増やす努力をしている。 先に入っていた職員に児童の様子を聞き、どう接するか様子を見ながら行動するようにしている。 毎日、教室支援、送迎人員を複数名で確認、必要に応じて人員補充、スケジュール調整をするよう最善を尽くしている。	近距離対応が必要な児童がいる場合でも1対3配置になっていると厳しいと感じる時が多い。 シフトを組んで頂いてよく回っていると思います 現在、マンツーマン対応児童が多いため、職員の人数が足りない、と感じることがたまにあります。 児発と放デイのともに支援員誰がいるのか確認していく。 職員の急な欠動を減らす 様子を聞きながら接しているが、叱咤の行動に対応出来なかったり、他の職員に声かけ出来なかったりする事があるので、予測
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	3	来所してからの動線がスムーズだと感じるがロッカーとおもちゃが置いてあるスペースがほぼ同時に視界に入るので気が逸れやすいのも同時に課題だと思う 横の連絡が良く、伝達がいい 時系列で生活の見通しが持てるように視覚化されている。 スペースをロッカーで区切ったり、テープで線を引いて位置を示したりしている。 プログラムなどをする場所、遊ぶ場所がわかれている 視覚化する、マットやロッカーなどでスペースを分ける	ホワイトボードに貼るマグネットシート(アナログ時計等)が経年劣化している為新規作成する。 机、椅子の種類は検討してほしい 食事の際に周囲のおもちゃなどが目に入りやすく、注意がそれやすい児童がいるため、集中して食べられるようバーテーションで区切る。壁に近いところで食事をするなど工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	3	毎日清掃している ゴミなど一つもない 整理、清掃、消毒の徹底 季節ごとに展示物がかかること	ものの老朽化 トイレの電気が暗いと思います、もう少しワット数を上げてほしいのでは。 建物(壁紙等)の経年劣化 高いところに登らないようにしたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	3	目標を決めている 教室管理者が定期的に個々に面談を行ったり会議の場を設けたりしている。 Discord、HUG、メーリングリストを活用し、情報共有に努めている。	後日目標の確認を行う 目標と振り返りの見える化。 職員が多いこと、シフト制で日によって職員が変わることで、大切な情報を必ず確実に周知することが難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	1	LINEやGoogleフォーム、ディスコードの活用	ミーティングなどで目標をたてます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	4	LINEやGoogleフォーム、HUGアプリの活用	ミーティング内で目標を立てる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	3	決定事項は全員で話し合い決めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	0	ミーティングでの話し合い ディスコード活用による研修周知。	インプットは多いがアウトプットに繋がっているかと考えるとまだまだ個人の努力が必要 次回に目標の改善を発表
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	1	職員間で児童の姿の共有	全職員、その児童の支援計画を意識した支援
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	3	HUGの活用	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	1	関係機関との連携、定期的な会議。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	2		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	3	ディスコードやミーティングによる職員周知	全ての児童の支援計画を把握できていない(個人的な課題) 人員確保

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	3		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	5	過去のプログラム実践記録をファイルでまとめている	直前までプログラムが決まらないことがたまにある プログラムをチームで作ってはいないが、このプログラムするのはどうかなどはミーティングなどで共有して実施している。導入の工夫。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	3	1週間に1回だけ通う子もいるので、2週連続被らないように工夫している 5領域に合わせたプログラムをその時の児童の様子を見ながら提供している。	人員不足が続くのでどうしても安定したプログラム選定になってしまう 同じプログラムになりがち 人員配置
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	2	様々なプログラムを通してその児童のニーズを見極めている。	ニーズの見極め、スモールステップの計画作成
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	5	季節の行事など 新しいプログラムや、社員1人に対してその他パートさんである場合は、共有している。 プログラム等の準備時間を設けている。 可能な範囲での確認を行っている。	子供達全員に行き渡る様に 9時の朝礼の後に出勤のため、当日の打ち合わせはほぼありません チームワーク
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	7	なかなか難しい部分もあるが可能な限り実施出来ていると思う 振り返りすべきな出来事が起きた際、支援員と振り返りしている。 気付いた点は、ディスコードでの共有もしている。	夕礼の機会、パートさんからの質問や振り返りの時間が欲しい 振り返りの時間が長くないようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	3	一日の記録 必要に応じて保護者への共有	振り返りシートを作成しているので、自分がこうするべきだったとか要改善の際は書き込むようにしている。それをほかの社員に共有出来ればもっと良くなると思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	2	職員間での情報共有	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	1	必要に応じて定期的に会議を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	13	5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	8		人材育成の促進。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	悩みに関して、まだ歴が浅いので先輩職員に相談し保護者の方に助言している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	3	保護者会の実施を行って好評だった	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	鍵の施錠	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	一方的にならないようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	6	地域、保護者も招いたイベント（夏祭り）の開催	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	3		定期的な訓練の実施
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	5	子供に場所を教える	想定外の洗い出し
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	検証会議を行なっている 職員に自動的にヒヤリハット報告がメーリングリストで流れるシステムになっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	1	研修を行なっている 匿名記入可能なオンラインでの相談報告フォームを設けている。新規職員には初日に虐待防止に関する動画研修を実施。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	2		